

副官ヨリ留守第七、同第八、同第十一、同第十二、第八、
第十一、第二十三、第二十四師團參謀長宛通牒
案

陸滿密

昭和十四年陸滿密第三四四號 關東州及滿洲國ニ在ル

部隊ヨリ患者トシテ還送セラレタル者ノ所屬ニ関

スル件 中留守部隊ノ意義ニ関シ疑義ヲ有

スル向アルモ右留守部隊ニハ爾今昭和十四年陸滿機

密第三號 滿洲駐屯陸軍部隊編制細則第一第

十七條ノ規定ニ依ル滿洲駐屯師團留守業務担任

部隊ハ之ヲ含ムモノト承知相成度依命通牒ス

追テ昭和十五年度陸軍動員計畫令細則第百

九十六條ノ規定ニ基ク留守業務担任部隊(本文

ニ掲クル規定ニ依リ駐屯師團ノ留守業務担任部

陸軍

隊トナリアルモヲ除クハ之ヲ含マサルニ付為念申添フ

陸滿密第五一二號 昭和五年六月三日

調製上ノ注意

留守第十二師團參謀長宛本文ニハ左ノ通符箋セシ度

小倉陸軍病院長ヨリ質疑アリタルヲ以テ特通報相成度為念

電報譯

五月十一日

午前午後

午前午後

時時

分分

著

第 三 號

陸軍省整備課長宛

發信者

小倉陸軍病院長

陸軍省第九〇二號第四條ニ依ル留守部隊ニハ一般

(留守業務部隊)ヲ含ミテ陸満密第三四四號ノ

留守部隊員外學生ニム之ヲ含ム如ク改正セラレタルモ

ノト解シ差支無キヤ

小倉陸軍病院長



陸

軍

19

陸軍電信著信紙 1540

注意

受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セス
受付時刻ノ表示中「セ」トアルハ午前「コ」トアルハ午後ヲ示ス

陸軍省

文	本	定指	受信人名	局發	局著
	陸軍省元口三番イ四條ニ依リ留守所陸軍通信一般ノ留守業務アリ リイア二九〇ニタキヨ四ヨカマルアニアイイクオ（ルスギ）ヨオムガ ナキヤ ナキヤ ニリケメ小倉陸軍通信隊長	リクグ ンシヨウ ルセイビ カテウ		陸軍省 八六字 コクラキタカタ 四九 コ四時三八分	六三 至急 午後七時一分 技手 夕 著信番號
		事記			

陸軍省
15. 5. 18
有線電信所

秘

1251

井上 人普第一〇九號
部隊本部

内地遷送患者ノ所屬ニ關シ照會

昭和十五年五月二十日

第二十三師團參謀長 木村 松治郎

陸軍省副官 川原 直一 殿

當師團ヨリノ内地遷送患者ハ昭和十四年一月陸支密第一三五號ノ趣旨ニ基キ陸滿密第三四四號第二項ノ留守部隊中ニハ留守業務擔任部隊ヲモ含ムモノト解シ從來留守業務擔任部隊ノ所屬ニ移リ居リタルモ小倉陸軍病院ハ其ノ見解ヲ異ニシアリ照會ノ結果別紙ノ如キ通牒アリ他ノ病院ト取扱上齟齬ヲ生シアルニ付至急何分ノ指示相成度

七七九

15.5.27
陸軍省副官

15.5.27
第94號
參謀課

軍

(日本標準規格B-5)



1572

電 報 寫

昭和十五年五月二日 井上部隊參謀長 木村 松治郎

小倉陸軍病院長 殿

二三師副電第一〇二號

貴院ヨリ中尾部隊宛通牒（四月十八日患第一一一六號）ニ依レハ
留守業務擔任部隊ハ留守部隊ニ含マサル旨陸軍省兵備課ノ回答ア
リタルトノ事ナルモ昭和十四年一月陸支密第一三五號ノ趣旨ト相
違シアルニ付^イテハ兵備課トノ往復文書寫至急送付相煩度

當師團ハ從來陸滿密第三四四號ノ留守部隊ヲ陸支密第一三五號
ノ趣旨ト同一見解トシテ取扱居ルニ付爲念

陸軍

(日本標準規格B-5)



小倉陸軍病院 患第一二八二號

陸滿密第三四四號取扱ニ關スル陸軍兵備課回答ノ寫送付ノ件通牒

昭和十五年五月四日

小倉陸軍病院 長

第二十三師團參謀長 殿

貴師副電第一〇二號ニ依リ照會相成タル首題ノ件別紙ノ通送付ス

陸軍

1573

(日本標準規格B-5)

歩三一留役第二〇八號

遷送患者ノ所屬ニ關スル件通牒

昭和十五年三月廿三日

歩兵第三十一聯隊留守隊

小倉陸軍病院 御 中

印

二月四日附歩三一留役第六九號照會ニ係ル首題ノ件ニ關シ小倉病院
 患第四四九號ノ回答ニハ陸滿密第三四四號第二條ニ依ル留守部隊中
 ニハ留守業務擔任部隊ハ含ム旨ノ回答ニ接シ患者ノ所屬ニ關シ疑議
 アリタルニ付當師團ニ照會セシ處師團トシテハ陸軍兵備課ニ照會ノ
 結果別紙ノ如キ回答ニ接シタルニ付承知相成度通牒ス

追テ貴院入院中ノ該患者及以後收容ニ關シテハ陸滿密第三四四號
 第二條「ロ」「ハ」「ニ」ニ依リ所屬決定相成度申添フ

陸軍

(日本標準規格B-5)

寫

人普第二一〇號

陸滿密第三四四號ニ依ル留守部隊ニ關スル件通牒

昭和十五年三月十九日

留守第八師團參謀長

岩 本 高 次

首題ノ件ニ關シ甲號ノ照會ニ對シ乙號ノ如ク回答アリタルニ付承知
セラレ度通牒ス

甲號照會 人普第一〇四號(ニニ一)

首題ノ件ニ關スル留守部隊中ニハ留守業務擔任部隊ヲ含マサルモ
ノト解シアルモ差支ナキヤ何分ノ回報相煩度照會ス

乙號回答 兵備課(ニニセ)

貴見ノ通

陸 軍

1575

(日本標準規格B-5)

陸軍

別紙ニ由敷事場ニ付



自子馬十二師團

笠原 少佐

陸軍省兵備課

鈴木 中佐 殿

謹啓

初夏之候愈々御清適極渡候趣奉賀候

撰送患者ノ所屬變更ニ關シ左ノ如ク質疑有之御示致賜リ度候

昭和十四年陸滿密第三四四號ノ留守部隊中ニハ留守業務擔任部隊

ヲ含ミアリヤ否ヤ

ニ若シ留守業務擔任部隊ヲ含マスト解サルル場合ハ將來在支部隊ト

同様之ヲ含ム如ク改正セラルルヲ適當トセスヤ

理由

(1)陸滿密第三四四號ニ依リ廢止セラレタル昭和十二年陸滿密第三

陸軍

昭和十五年五月廿五日

留守第十二師團
小笠原 少佐

陸軍省兵備課

鈴木 中佐 殿

謹啓

初夏之候愈々御清適被渡候趣奉賀候

扱還途患者ノ所屬變更ニ關シ左ノ如ク質疑有之御示教賜り度候

昭和十四年陸滿密第三四四號ノ留守部隊中ニハ留守業務擔任部隊

ヲ含ミアリヤ否ヤ

ニ若シ留守業務擔任部隊ヲ含マスト解サルル場合ハ將來在支部隊ト

同様之ヲ含ム如ク改正セラルルヲ適當トセスヤ

理由

(1) 陸滿密第三四四號ニ依リ廢止セラレタル昭和十二年陸滿密第三

號ノ留守部隊中ニハ（殘置部隊ヲ含ミ留守業務擔任部隊ヲ含マ
ス）トアリ然ルニ陸滿密第三四四號ニ於テハ單ニ留守部隊トナ
レリ

(ロ)當時ノ陸普第一八七七號（陸普第一〇〇號ニ依リ廢止）ノ留守
部隊中ニハ留守業務擔任部隊ヲ含ミアリ

(ハ)最近ノ陸普第二九〇二號第四條ノ留守部隊中ニハ留守業務ヲ行
フ部隊ヲ含ミアリ

從來當師團ニテハ留守業務擔任部隊ヲ含ミアルモノト解シ第二十三
師團及第二十四師團ノ内地還送患者（准士官以上及文官以下ヲ除ク）
ヲ留守第六師團及留守第八師團ノ當該部隊へ所屬ヲ移シアリシモ今
後ハ解釋ノ相違ニ依リ方針ヲ變更スルノ要有之至急御回答被下度候
尙從來所屬變更ヲ決定シアリシモノハ其儘ト致度候 敬 具



電報譯

五月二十四日 午前十一時二分發

發信地

上野

陸軍省
 15. 5. 24
 第865號
 兵備課

兵備課長宛
 副北第二〇六號
 發信者留牙第七師參謀長

昭和十四年陸海軍第三四回師の依り算
 二十四師の還送者、本籍地師管
 其ノ當該兵種部隊所屬之移
 工ト夕留牙隊業務擔任部隊ヲ留牙
 第八師所屬之移ニト解云
 如何

終